

Y M C A 子 ども 広 場  
～ 放 課 後 の 子 ども の 居 場 所 つ づ くり 事 業 ～  
事 業 報 告 書

独立行政法人福祉医療機構 平成29年度社会福祉振興助成事業

～ はじめに ～

YMCA子ども広場は（独）福祉医療機構社会福祉振興助成を活用させていただきながら、2年目を無事に終えようとしています。現在の登録数は12名となり、6年生から幼稚園年長までの子どもたちが、毎週水曜日午後4時から午後8時まで、高齢者施設YMCAサンホームで過ごしています。また、子どもたちから、みんなで泊まってみたいという強い希望があり、11月にお泊り会も行いました。

今年度はスクールカウンセラーから声が掛かり、学校に通うことが難しい児童を受け入れ、また、食物アレルギーがあり、食事は一緒に食べることはできないけれども、より多くの子どもと接する機会を得たいという児童も受け入れました。

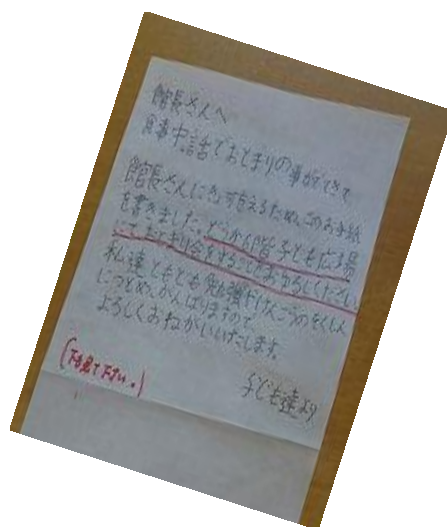
「子どもの貧困」がクローズアップされ、数多くの子ども食堂が生まれました。「貧困」とはいったい何を指すのでしょうか。そしてどのようにすれば、貧困を解決するための支援を継続できるのでしょうか。多くの子ども食堂が直面する課題に、私たちは高齢介護・保育園事業で培った調理や相談援助、対人関係技術や、行政や社会資源との繋がり、大学生ボランティア育成のノウハウを用いて取り組んでいます。多様な子どもたちとその保護者にとって、これからも安心ができ、楽しみとなる「広場」でありたいと願っています。

## 1. 子ども広場の特徴

- ① 大学生のボランティア（登録数 18 名）が毎回 3 名で、子どもたちと一緒に過ごします。
- ② 大学生ボランティアは、年間を通じて子どもの発育やリスクマネジメント、人間関係等に関するトレーニングを受けています。
- ③ 行政の指定を受けた特別養護老人ホーム内の調理設備を用いて、保育園・高齢介護事業が行っている、個々に合わせた調理の技術を生かした食事を提供しています。
- ④ バリアフリーで安全に配慮した特別養護老人ホーム施設を活用し、さらに管理者賠償保険に加入し、万が一に備えています。
- ⑤ 必ず保護者にお迎えをお願いし、お帰りの際には利用時の様子をお伝えしています。
- ⑥ 子どもとの関わりや保護者との関係構築がスムーズであるように、青少年育成に携わったことのある職員を配置しています。

## 2. 子ども広場の様子

### ① 日々の様子



② 子ども広場お泊り会（ボランティア・職員付添い）

i. 子どもたちがメニューと食材を考え買い物をし、調理をしました。



ii. 夜には昔を知る～初体験から発見～と題して銭湯に出かけました。



iii. 翌日には特別養護老人ホーム入居者へ新聞を配り、食事配膳を行いました。

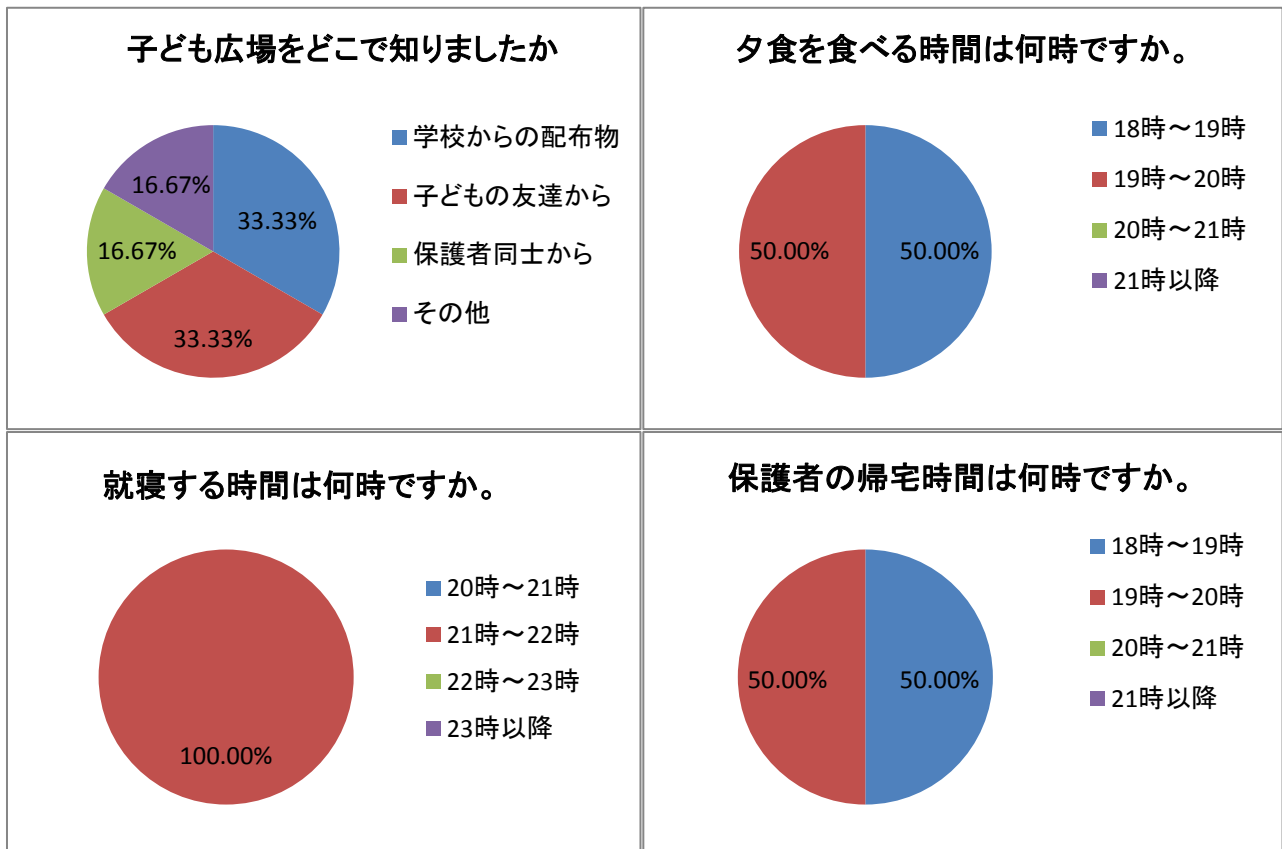


- iv. 公園で遊んだ後、ボランティアとお泊り会の振り返りをして解散しました。

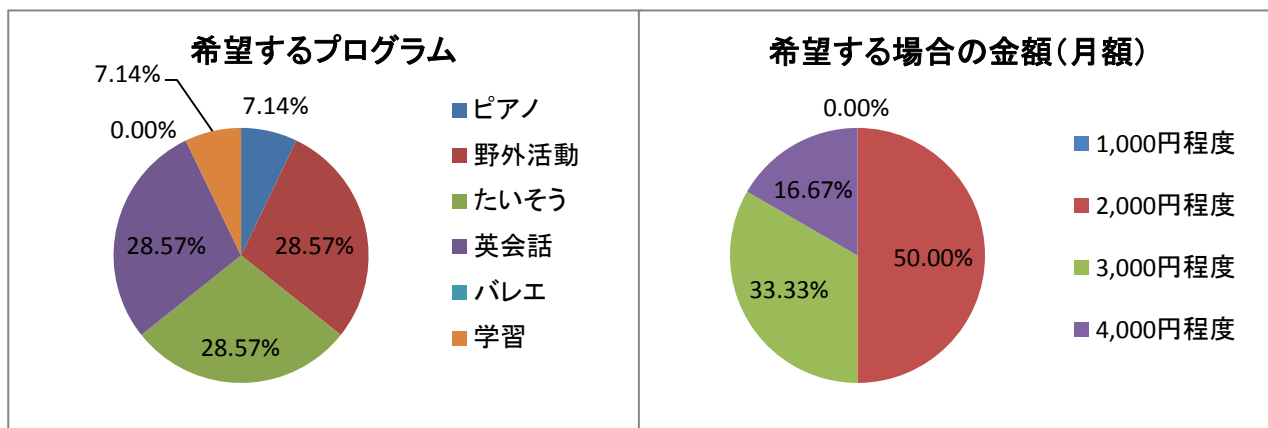


### 3. 保護者へのアンケート結果

YMCA子ども広場を利用する保護者に、今後の事業の参考にするため、利用のきっかけや日々の生活について、また、希望するプログラム等についてアンケートを行いました。







#### 4. ご寄附のお願い

YMCA子ども広場は2019年度に開設3年目を迎えます。子どもたちが笑顔で過ごし、大学生ボランティアが、子どもたちにとってかけがえのない存在になっています。これからも子どもたちが安心して過ごし、楽しみの「広場」であるように、保護者にとって、信頼して相談できる「広場」として、そして関わる大学生ボランティアも成長できる「広場」であるように、どうぞ皆様のご支援をお願いいたします。

ご寄付 振込先

三菱UFJ銀行 八戸ノ里支店

普通 3811755

しゃかいふくしほうじんおおさかわいむしいえい りじちよう しまおか まさあき  
 社会福祉法人大阪YMCA 理事長 島岡 正明